

千曲病院黒字化

令和4年度町立千曲病院の決算が確定しました。

収益的収入 17億9442万円
収益的支出 17億2619万円

入院患者数	28793人
(前年比)	490人増 101.7%
外来患者数	54400人
(前年比)	5800人増 111.9%

人間ドック受診者数	1236人
(前年比)	24人増 102.0%

資本的収入	2億1159万円
資本的支出	3億6099万円

令和5年度 6月定例会 賛否のわかった採決結果一覧表

議員氏名 議 案	岡 部 尚樹	須 田 芳明	高 見 澤 敏幸	竹 内 達朗	高 見 澤 利博	佐 々 木 信 幸	西 部 元 和	島 崎 規 子	出 浦 修 身	高 橋 康 徳	高 見 澤 研 二	小 宮 山 雅 則	高 見 澤 春 野
学校給食無償化の実施に関する陳情	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
「安保関連3文書」の撤回と国会での慎重審議、対話の外交を求める意見書提出についての陳情	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	○
国保制度の改善を求める陳情書	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○
介護保険制度の改善を求める陳情書（一部採択）	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
介護保険制度の改善を求める意見書の提出について	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対。議長（石井正行）は採決に加わりません。これら以外は全員賛成で可決・採択となりました。

5月臨時会

令和5年5月22日

デジタル田園都市国家構想交付金
(地方創生拠点整備タイプ) 事業

佐久穂町（仮称）道の駅建設
工事請負契約の締結について

4月臨時会

令和5年4月21日

固定資産評価審査委員会委員の選任
教育委員会委員の任命、教育長の任命

21億2300万円

令和5年度 5月臨時会 賛否のわかった採決結果一覧表

議員氏名 議 案	岡 部 尚樹	須 田 芳明	高 見 澤 敏幸	竹 内 達朗	高 見 澤 利博	佐 々 木 信 幸	西 部 元 和	島 崎 規 子	出 浦 修 身	高 橋 康 徳	高 見 澤 研 二	小 宮 山 雅 則	高 見 澤 春 野
佐久穂町（仮称）道の駅建設工事請負契約の締結について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は賛成、「×」は反対。議長（石井正行）は採決に加わりません。これら以外は全員賛成で可決・採択となりました。

令和5年 6月定例会（6月1日～14日）

町長招集あいさつ

行政の動き

【企業版ふるさと納税】

3月の末に、企業版ふるさと納税を受け入れるために必要な「地域再生計画」が国の認可を受けました。現在までに2社から寄付をいただき、1社から申し出をいただいている。今後も「企業版ふるさと納税」に取り組んでいきます。

【凍霜害被害】

凍霜、低温により、りんご・ブルーン・すももなどの果樹が被害を受けました。りんごは全体で5割程度、特にふじを中心に被害を受けました。ブルーンは3割程度、早生種が大きな被害を受けています。

町では、凍霜害防除の支援を行っておりますが、経営意欲の減退等につながらないよう、更なる支援として、補助金の上限額を増額計上しました。

【（仮称）道の駅「八千穂高原IC」】

3月の末に、国の補助金として見込んでいたデジタル田園都市国家構想交付金の地方創生拠点整備タイプ（令和5年度当初予算分）の採択結果が公表され、佐久穂町は全国で25団体の狭き門の中、国費ベースの上限額である5億円が認められました。

なお、道の駅の正式名称の募集については、350件を超える応募がありました。秋頃に正式名称を決定していく予定です。

【宿岩簡易水道事業】

4月29日に佐久町北部水道組合の令和5年度代議員総会が開催され、佐久水道企業団への移管を令和6年4月としたうえで、組合の基金を含む財産処分と、組合解散の議案が可決されました。今後、関係機関と協議を進めていきます。

【学校給食費等の費用負担】

今年度の給食費については、費用の一部を保護者にご負担いただく予定でしたが、国から「令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の通知があり、学校給食費等の支援が示されたことから、今の経済情勢を踏まえ、家庭の経済的負担を軽減するため、年度内の給食費を無償化とする補正予算を計上しました。

【町立千曲病院の決算】

新型コロナウイルス感染が拡大と収束を繰り返す中、診療体制の充実を進めた結果、患者数が増加し、令和3年度に引き続き、純利益が黒字で終わるとともに、令和2年度に一般会計から借り入れた6000万円を年度末に一括返済することができました。

5月以降も、病院では、引き続き感染症対応を行いながら令和5年度下半期を目標として、常勤医師の体制も整えるよう努めてまいります。

佐久穂町（仮称）道の駅建設工事 「安全祈願祭」が行われました。

6月2日（金）午前10時より 道の駅建設予定地にて



一般質問

定例会において、地方議員は自治体の施策に状況や方針などについて、通告をした上で質問をすることができます。

6月定例会一般質問（令和5年6月6・7日）

道の駅に7億9千万円の一般財源の投資とは

町長「公共施設投資のために積み立ててきたものです。」

須田 芳明 議員

道の駅に7億9千万円の一般財源の投資とは

町長 公共施設投資のために積み立ててきたものです。

須田 芳明



道の駅事業について

問 21億2300万円の建設費のうち、一般財源7億9千万円の公共施設等整備基金の運用方針は。

町長 この基金は道の駅のような公共施設投資のために積み立ててきた財源です。経済波及効果を算出した中で、道の駅の目的として最も優先することは、建設時も多くの市民にかかわっていただき、南佐久をはじめとする佐久地域、東信地域の活性化の拠点のひとつとなることです。

問 町の振興のため投資する7億9千万円を回収する計画はないのか。

総合政策課長 目に見えた回収計画はありませんが、地域の活性化等に結び付けた形の回収計画を考えております。

問 運営会社との契約内容は。

町長 指定管理者の契約内容は、施設名を決定し、今後、施設設置条例を制定してうえで決定します。

問 建設課長 運営及び維持管理業務を実施する期間は、おおむね10年を予定しています。町の財政負担は無償で提供するサービス部門の人事費にかかる費用のみで、それ以外の費用は、事業者が負担するものです。指定管理者は施設使用料として、純利益の10パーセントを町に支払うこととしています。

問 モンベル社との契約内容は。

建設課長 モンベル社を含めたテナント出店者は個別に契約を結びません。テナント出店者は指定管理者と契約を結ぶ

町を活性化させる産業振興策は

町長 地域に根差した「しごと」「なりわい」の起業や事業育成環境の形成／地域資源開拓と地域に根差した事業活性化の仕組みづくり／地域の資源や町のくらしに根差すこと・商品・風土のPRとブランド化／地域のみんなが稼いだお金を地域で循環／の4項目を目指す方向性としています。

問 町民、生産者、事業者の参加をどのように推進したのか。

町長 施設の事業運営については指定管理者が実施していくことであり、町はこれにかかる事業者の参加については推進を行っています。

問 町の観光案内をどのようにするか。

町長 観光案内のインフォメーション機能を道の駅、ビジターセンターに移す予定です。

問 道の駅を成功に導くために町はどのような方策を考えているか。

町長 道の駅は地域経済活性化のために欠かせない物の一つと考えています。道の駅は、アウトドア施設、ビジターセンターによる観光振興、農産物や加工品販売等による産業振興、地域交流の場の一つとなつてき、さらに指定管理者の柔軟な発想のもと機動的な経営を期待します。

温暖対策の基本的な考え方

町長 CO₂削減目標を条例にどう規定しているのか。

町長 水力発電や太陽光発電のほか、本庁舎の地中熱利用も実施しているところですが、今後、何が導入可能なのかを、調査計画事業を進める中で明らかにして、条例の必要性も検討していきます。

問 町の気候非常事態宣言の重点取り組み事項について、具体的な予定は。

町長 目標達成に向けては、町民及び事業者等の皆さまの理解と協力が不可欠です。実現に向けては、地域の意識の共有が課題であり今年度実施の調査をもとに進めていきます。

子どもまんなか社会について

問 子ども議会の取り組み推進の考えは。

教育長 子どもの意見を聞く機会として、また王権者教育の大切な機会として、子ども議会は有益であると考えます。子ども議会を含め必要な要素について検討していきたいと思います。

問 他の公園問題を、当町はどう理解するか。また子育て世帯の状況をどう見ていますか。

答 指定管理者から配布された資料の一部

気象非常事態宣言の取り組みは

町長 国の目指す目標と同じ方向です。

高見澤 利博



女性視点の防災啓発について

問 ソフト面を反映させるために、防災活動の中核となる女性防災リーダーの育成が重要ではないのか。

町長 確かに防災組織の場合、男性役員中心での構成が多いようです。今後は、女性からの要望や意見を聞き入れやすく、声を出しやすい環境を整えていくことは重要です。当町には、民生児童委員協議会、日本赤十字奉仕団など、女性が多く活躍する団体があります。まずは防災に関する情報提供を行い意見や提案をいただきながら、女性防災リーダーの体制づくりにつなげて行きたいと考えています。

問 女性視点の防災ブック作成の考えは。

町長 防災ブック作成については、別冊で作成するよりも全戸配布される媒体活用の方が有効になると考えています。なお、今回の7月発行の広報さくほには、災害に備える内容の特集を組む予定です。

道の駅に農産物直売所をつくる目的は何か

町長「町内や南佐久の農産物や加工品を販売し、地域の活性化に寄与していくものです。」

出浦 修身 議員

佐久穂町給食憲章を制定しては

教育長「必要性も含め検討します。」

佐々木 信幸 議員

老人保健施設の運営方向の転換が必要では

町長「施設の規模やサービス内容、用途変更も含め現在検討中です。」

高見澤 春野 議員

農產品の生産量を増やす施策は

島崎 規子



町長 できる範囲で、必要な対策・支援を行つていきます。

農產品の生産量確保のための施策は

問 令和6年8月になると、町内に直売所が2か所となる。町として販売する農產品確保への懸念は。



町長 資金面等での支援を検討します。
竹内 達朗

水利組合の課題と行政としての施策

出浦 修身

道の駅に農產物直売所をつくる目的は何か

水利組合の現状をどう認識しているか

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電気代等の補助などを要望している。このまま放置すれば耕作地を失っていくことになりかねない。どのように対応していくのか。また、農地の貸し借りについて、利用権設定などの実態はどの程度把握しているのか。

町長 農業用水路のバイオライン化などで維持管理の省力化、電気代・資材費の高騰を踏まえた資金面の支援を検討していると水利権の放棄統合といった問題もあります。水利関係を全て町が管理すると利用権設定と農地中間管理事業が活用されてしましました。なお、令和6年度末で利用権設定は廃止され、中間管理事業に一本化されます。



農業用ポンプ

建設課長 道水路普請や水利組合等による水路保全活動は農業用のかんがいや水害防止に寄与しています。バイオライン

ます。

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電気代等の補助などを要望している。このまま放置すれば耕作地を失っていくことになりかねない。どのように対応していくのか。また、農地の貸し借りについて、利用権設定などの実態はどの程度把握しているのか。

町長 農業用水路のバイオライン化などで維持管理の省力化、電気代・資材費の高騰を踏まえた資金面の支援を検討していると水利権の放棄統合といった問題もあります。水利関係を全て町が管理すると利用権設定と農地中間管理事業が活用されてしましました。なお、令和6年度末で利用権設定は廃止され、中間管理事業に一本化されます。

問 気候変動による農作物への被害に対し、町にできる支援は何か。

問 技術面での支援について県産業振興課長 農業支援のための技術サポート等は、特段今回に限ったことではないことを了承下さる。

問 基本方針「地域の人に信頼され、愛される町立病院を目指す」を補完するものは、

町長 この基本方針は、町立千曲病院の理念になります。2期目の選挙公約に千曲病院・老健存続のための再編強化を挙げましたが、最も大切なことは地域にとって必要な病院となることです。

町長 この基本方針は、町立千曲病院の理念になります。2期目の選挙公約に千曲病院・老健存続のための再編強化を挙げました。千曲病院事務長 職員には、「判断に迷つたら理念に基づいて判断を。そのことが患者さんのためになるだろうか。自分中心に考えてはいけないだろうか。そこを基準に判断して行動を」と伝えられており、現在の職員の行動からそれが浸透しつつあることを感じています。

問 水利組合の生産量確保のための施策は

問 令和6年8月になると、町内に直売所が2か所となる。町として販売する農產品確保への懸念は。

町長 出荷する生産者にとって、新道の駅ができるにより、新たな販路として活用できるものと考えています。指定管理者に

問 農家数の確保と継続性についての町の施策は。

町長 農業振興に当たっては、産地交付金等国・県の補助事業や、農業振興補助金など町独自で継続した支援を行っています。そして時代や社会情勢の変化等を踏まえ、町として必要な事業支援を考え取り組んでいます。

問 産業振興課長 燃焼資材購入補助金（2分の1以内）は上限5万円を10万円に、収入保険料支援は掛け捨て保険料の50%の補助を、近年の状況を鑑み令和7年までの延長を考えています。



凍霜害が顕著なオータムキュー (左) としなのドルチェ (右)

化は令和2年度から取り組んでいます。水路への蓋の設置も実施しています。

産業振興課長 農地の貸し借りは主に利用権設定と中間管理事業によって行って行っています。面積ベースで賃貸借が7割、使用貸借が3割となっていますが、使用貸借が増加傾向にあります。

町長 資金面等での支援を検討します。

水利組合の現状をどう認識しているか

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電

気代等の補助などを要望している。このまま放置すれば耕作地を失っていくことになりかねない。どのように対応していくのか。また、農地の貸し借りについて、利用権設定などの実態はどの程度把握しているのか。

町長 農業用水路のバイオライン化などで維持管理の省力化、電気代・資材費の高騰を踏まえた資金面の支援を検討していると水利権の放棄統合といった問題もあります。水利関係を全て町が管理すると利用権設定と農地中間管理事業が活用されてしましました。なお、令和6年度末で利用権設定は廃止され、中間管理事業に一本化されます。

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電

気代等の補助などを要望している。このまま放置すれば耕作地を失っていくことになりかねない。どのように対応していくのか。また、農地の貸し借りについて、利用権設定などの実態はどの程度把握しているのか。

町長 農業用水路のバイオライン化などで維持管理の省力化、電気代・資材費の高騰を踏まえた資金面の支援を検討していると水利権の放棄統合といった問題もあります。水利関係を全て町が管理すると利用権設定と農地中間管理事業が活用されてしましました。なお、令和6年度末で利用権設定は廃止され、中間管理事業に一本化されます。

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電

気代等の補助などを要望している。このまま放置すれば耕作地を失っていくことになりかねない。どのように対応していくのか。また、農地の貸し借りについて、利用権設定などの実態はどの程度把握しているのか。

町長 農業用水路のバイオライン化などで維持管理の省力化、電気代・資材費の高騰を踏まえた資金面の支援を検討していると水利権の放棄統合といった問題もあります。水利関係を全て町が管理すると利用権設定と農地中間管理事業が活用されてしましました。なお、令和6年度末で利用権設定は廃止され、中間管理事業に一本化されます。

問 町内各所の水利組合は、地権者の高齢化、生産者価格の低迷、肥料資材の高騰、そこに燃料・電気代等の負担増により深刻な状況に置かれている。一部の組合は施設設備を町の管理にすることや電

佐久穂町給食はどのように実現するべきか
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。



佐久穂小学校給食のようす

佐久穂町の給食はどうあるべきか
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。

佐久穂教育を地域ブランドに
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。

第2期地域福祉計画で掲げた
重点課題の具現化
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。

第2期地域福祉計画はどこまで構築されたのか。
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。

佐久穂町グループホーム（ほほえみ）
（提案について）
では、学校給食共同調査委員会において、必要性も含めて検討したいと思います。

学校給食の無償化継続は
（質問）3月定例会において、給食費は保護者の一部負担とされたが、6月定例会では今年度無償化継続という方針が出た。学校給食無償化について町長の真意を問い合わせたい。また、恒久的無償化実現についての考えは。

佐久穂町の給食はどうあるべきか
（質問）ゲノム編集されたトマトの苗を学校に配るというような動きがあり、食の安全面から不安を感じる。このような試みを排除するためにも佐久穂の学校給食はどうあるべきかという理念を示した宣言文（憲章）を作つたらどうか。佐久穂町ならではの特色を盛り込んで明文化して、学校関係のみならず町民全体で共有することで子どもたちの食の安全安心を支えるといふ気運づくりにもなると思うが。

老人保健施設の運営方向の
転換が必要では
（質問）第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の前半3年間と後半3年間の取組みを踏まえた進捗状況の評価は。

老人保健施設の運営方向の
転換が必要では
（質問）第2期地域福祉計画で掲げた
重点課題の具現化
（質問）第2期地域福祉計画はどこまで構築されたのか。
（質問）障がい者のグループホーム設置の進捗状況は。

佐久穂町給食憲章を制定しては より安全な農産物を供給するため

佐々木 信幸

教育長 必要性も含め検討します。

一部事務組合議会について

①佐久環境衛生組合議会

令和5年4月1日より「佐久平環境衛生組合」と「南佐久環境衛生組合」が統合して「佐久環境衛生組合」が発足しました。

佐久平環境衛生組合は昭和59年竣工後、平成19年の改修工事を経て稼働していますが、設備機器の経年劣化に伴い維持修繕費がかさみ、財政負担の増大が大きな課題となっていました。組合の統合により南佐久浄化センター敷地内に「し尿等受入施設」を増設して、その処理を行い、これまでの施設は閉鎖する方向で計画が進んでいます。新組合の発足に合わせ議会制度についても検討が進められ、5月より議会も新体制がスタートしました。

佐久穂町選出議員の編成は次の通りです。

議長	高橋 康徳
議会運営委員会	高見澤敏幸
総務常任委員会	高橋 康徳
下水道常任委員会	高見澤敏幸（委員長）
西部 元和	

②佐久水道企業団議会

議会新体制により改選が行われました。

佐久穂町選出議員の編成は次の通りです。

副議長	島崎 規子
議会運営委員会	高見澤春野
総務委員会	高見澤春野
施設委員会	島崎 規子

委員会活動から ~委員会審査~

経済福祉常任委員会

承認案7件、認定案1件、議案5件が付託され、原案通り、承認、認定、可決すべきものと決しました。
陳情1件が一部採択すべきものと決しました。

建設課

- 問 新築住宅助成事業での600万円の補正計上の理由は。
答 新築住宅での資材高騰により助成金を1.5倍増にしました。よって以下の金額とするところです。
- | | |
|--|------|
| ①子育て世帯又は若者世帯 | 30万円 |
| ②元請事業者が町内に主たる事業所を置く建築関連事業者による施工 | 75万円 |
| ③下請事業者5者以上が町内に主たる事業所を置く建築関連事業者による施工 | 30万円 |
| ④町産木材使用20m以上 | 15万円 |
| ⑤町産石材使用5m以上 | 15万円 |
| ⑥白壁や和瓦の屋根が印象的な、日本の集落景観を尊重する建築様 | 15万円 |
| ハウスマーカーで建てても、①に当てはまれば助成されます。詳しくは建設課でご確認ください。 | |

産業振興課

- 問 鳥獣被害防止総合対策交付金が110万円増えているが、捕獲に対して、県より補助金がどの位出るのか。
答 鹿の捕獲数に対して令和4年度は約7割です。約3割は町負担です。令和4年度は1468頭捕獲しております。
- 問 農業振興費の補助金について、145万円増額の理由は。
答 100万円については、土づくりセンターの攪拌機のモーターが壊れてしまい計上しております。45万円については、春先の果樹等の凍霜被害に対する、燃焼資材等への補助を追加するものです。



老人保健施設

- 問 5月8日以降コロナが5類となり、国からの感染防止対策補助金は見込めなくなるが、その後の対応は。
答 コロナが消えた訳ではないので、今でも従業員一同気をつけております。施設としては、独自に外部簡易キット等を使い、感染予防と経費削減に努めています。

健康福祉課

- 問 障害者支援事業で250万円計上されているが、今議会での計上理由は。
答 初期予算に盛らなければいけないところでしたが、見落としており今回計上させて頂きました。
- 問 結婚新生活支援事業で15万円減額の理由は。
答 県より「利用見込みがない市町村は補助金を返還してください」との事で減額しました。

千曲病院

- 問 令和4年度の決算内容は。
答 6425万円の黒字決算となっており、2年連続で黒字を計上しています。
- 問 110名から120名に職員を増やす理由は。
答 保健師、看護師、介護福祉士若干名、放射線技師、視能訓練士各1名ずつ、10月より常勤医師が1名就任される予定です。また、令和6年度に向けて整形外科常勤医師の採用努力を進めおりますが、医師の採用に伴い他職員の増員も必須となります。現在の定数では不十分だと考えます。

総務文教常任委員会

承認案9件、議案4件が付託され、原案通り、承認・可決すべきものと決しました。陳情5件を審査し、3件は採択すべきものとして、2件は不採択すべきものとして決しました。

住民税務課

- 問 国民健康保険税条例の一部改正で資産割をどうしてなくすことになったのか。
答 国保税の構成は、所得割・資産割・均等割・平等割でできていました。資産割については、固定資産税の負担者にとっては重複しているとの考え方から、都市部では既に資産割がなくなっています。そういう昨今の状況に合わせました。

こども課

- 問 町奨学金の借り入れ状況は。
答 利用者が減少してきています。国の制度は給付型もでき、貸す形の町の奨学金の利用が減っているものと思います。
- 問 小中学校と同じように保育園への給食費補助はおこなわれているのか。
答 保育園については、保育料の減額という形で対応しています。
- 問 ちいしばの杜の通園バスの園児降車確認用の安全装置は、町で補助金を出しているのか。
答 国で安全装置の設置が義務化されたことに伴い、各施設が市町村を通して国へ補助金を申請する形がとられています。よって全額国費となります。

生涯学習課

- 問 学芸員はパートタイム会計年度任用職員か。勤務はどのような形態か。
答 人事異動で学芸員が欠員となりパートタイムでお願いします。1日7.5時間で週5日を計上しています。

委員会審査中の合同視察

奥村土牛記念美術館 耐震工事 視察



総合政策課

- 問 過疎対策事業債について、何がソフト事業にあたるのか。
答 保育園における業務、学校教育に外国人教師を入れること、集落支援を地区に交付していること、公民館の分館活動などとなります。
- 問 ふるさと納税にかかる事務処理などの人材を包括委託派遣職員から会計年度任用職員へと切りかえた理由は。
答 派遣職員ははじめから業務が決められており、臨機応変な指示に十分な対応ができないためです。

総務課

- 問 広域連合負担金682万円の主な減額理由は。
答 令和3年度の不用額を基金に積み立てたこと、給与費の減などが主なものです。
- 問 消防団の退職者32名は例年と比べて多いのか。
答 令和5年度は、どれだけ減っているのか。
答 今年度の新入団者は13名で、18名の減です。退団者に比べて入団者は少ない状況です。

補助金の交付決定があり、安全に放水できるガンタイプローブルを各分団に配備します。



議会委員会審査傍聴

小学校6年生の社会科では、1学期に公民分野の学習を行います。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で、企画変更を余儀なくされていた佐久穂小学校の修学旅行ですが、今年は社会科学習でも重要な国会議事堂見学も再開されるとのことです。

そんなコロナ禍の影響もあり、かつ政治分野における地方自治の学習という観点からも、3年前より佐久穂小学校6年生は、佐久穂町議会6月定例会の委員会審査を傍聴し、同時に佐久穂町役場を見学するという社会見学を始めました。今年も、6年生2クラスが6月8日・9日と来庁し、1組は総務文教常任委員会のこども課所管分の審査を、2組は経済福祉常任委員会の健康福祉課所管分の審査を傍聴しました。1クラスを2グループに分け、一方が委員会審査を傍聴する間、もう一つのグループが教育長の案内のもと、佐久穂町庁舎を見学して回りました。

若者の政治離れが厳しい状況である今、佐久穂の子どもたちが少しでも自分のこととして政治をとらえ、政治に興味を持つくれたらと願つてやみません。こういった活動も地方議会の重要な使命の1つであると考えています。

**6年2組 6月8日(木) 10:00~
経済福祉常任委員会
健康福祉課所管分 審査 傍聴**

**6年1組 6月9日(金) 11:00~
総務文教常任委員会
こども課所管分 審査 傍聴**



いすや机が動いて避難所になるということにおどろきました。しかも、地下から通った柱によって地震のダメージを減らしたり、温度をちょうどしつしたりしているのもすごかったです。町長さんの部屋や壁などが、佐久穂町の宝であるカラマツでできていました。町長さんがおっしゃった通り、佐久穂の自然を守ったり、紹介したりしたいです。

佐久穂町を支えてくださっていることを知れることができたよい経験になりました。私達にみんなにお金をかけてもらっているとは思いませんでした。100万円を超えるものもあり、とても驚き、同時に幸せだなあとも感じました。私達が安心して楽しくくらせるのは、みんなのおかげだと改めて思いました。佐久穂町を大切にし、佐久穂町を愛される町にしたいです。

3時間目に佐久穂町役場に行きました。1階は健康福祉課とかこども課とか住民税務課があり、こども課について教えてもらいました。びっくりしたことは、子どもたちのためにたくさんのお金を使ってくれていることです。

議会の見学をさせてもらいました。こども課の予算の話を聞きました。色々なことに使うお金が、細かく決められていてすごかったです。また夏は涼しく、冬は暖かくする機械や、地震から守る機械もありました。両方ともすごく便利な機械だと思います。

傍聴席で見学した委員会審査は、5年生の時に学習したディベートみたいでした。でも、自分たちが5年生のときにやっていたのより、とても難しい言葉をたくさん使っていて、すごい！と思いました。意味がよく分からなかった言葉は、控室で先生に教えてもらいました。「減額」はお金を減らすことだそうで、思い出してみると、審査では何度も「減額します」と言っていました。佐久穂町はこの予算が厳しい中で佐久穂小中学校にたくさんのお金をかけてくれているんだと知って、とても感謝しています。

補助金やコロナ交付金、予防費、衛生費などの説明後、審査が行われました。その中で「臨時交付金が昨年に比べて減っている理由は？」という質問がありました。その質問に対して「申請したが少ない。（町の予算が厳しい）」と言っていました。佐久穂町の予算が少ないという状況を知った上で、わたしたち子どものためにたくさんのお金を使ってくれていることにビックリしました。そして、佐久穂町には自慢できるようなすばらしい場所やものがあることも改めて知ることができました。

委員会審査では15人ぐらいの人が真剣に話し合っていました。クリイレ金やツミタテ金、フタン金など、ぼくにはわからないようなお金の話をしていました。ぼくたちの住んでいる佐久穂をもっと良くしていくこうと話し合っている姿には、感動しました。おとなになったら、佐久穂町役場で働くのもいいなあと思いました。

議場に入った瞬間に、歩いていた廊下とは雰囲気がガラッと変わって、緊張しました。20人ぐらいの人が委員長を中心にパソコンや紙を見ながら、すごく真剣に話し合っていました。議員さんはお金の使い道について話をしていました。難しくて少ししかわからなかったけど、病院や介護、子育てなどの生活について話し合っていて、町は議会で採決されたことを中心に回っていることや、責任の重さを改めて感じました。

児童の感想



